

2014年 6月期

第一四半期累計期間
決算補助資料

1. 1Qの業績について	3
2. セグメント別の状況	11
3. 2014年6月期見通し	15
4. TOPICS	23

【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

1

1Qの業績について

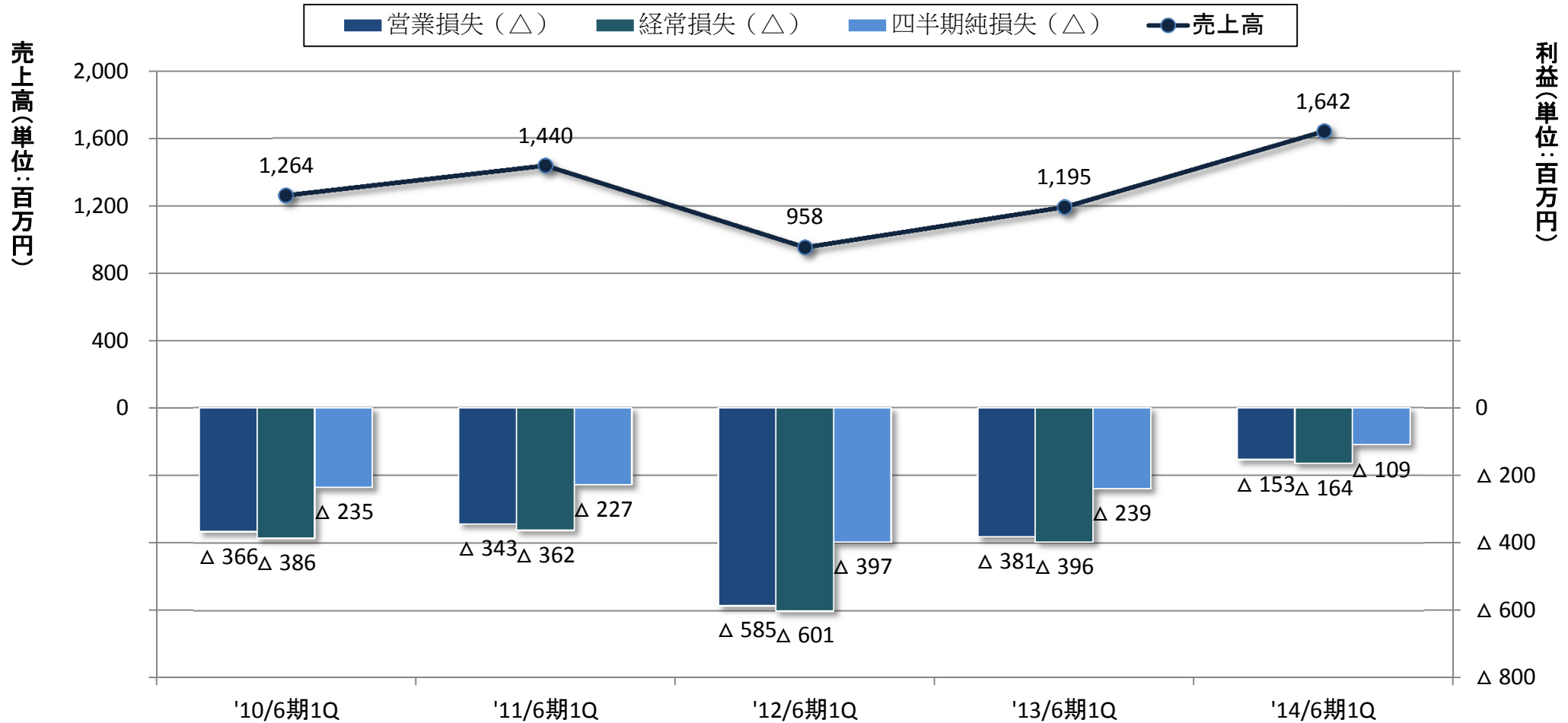


1 Q決算の概要

(単位:百万円)

	'12/6期 1Q	'13/6期 1Q	'14/6期 1Q	対前年同期 増減額 (増減率)
売上高	958	1,195	1,642	447 (37.5%)
営業損失(△)	△585	△381	△153	227 (-)
経常損失(△)	△601	△396	△164	232 (-)
四半期純損失(△)	△397	△239	△109	130 (-)

1 Q業績の推移



⇒ 当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡しが集中することから第1四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。当第1四半期累計期間の損失は、かかる季節変動による影響であります。

(単位:百万円)

	'13/6期 1Q	'14/6期 1Q	対前年同期 増減額
売上高	1,195	1,642	447
売上原価	766	944	178
売上総利益	428	698	269
販売費及び一般管理費	810	851	41
営業損失(△)	△381	△153	227
営業外損益	△15	△11	4
経常損失(△)	△396	△164	232
特別損益	△0	—	0
税引前四半期純損失(△)	△396	△164	232
法人税等	△157	△55	101
四半期純損失(△)	△239	△109	130

<売上高>

エンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大による事業領域・顧客層の拡大に努めた結果、売上高は16億42百万円となりました。なお、当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡しが集まることから、第1四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。

<売上原価>

品質管理のより一層の向上と不良プロジェクトの未然防止などにより、強固な収益構造の構築に努めております。

<販売管理費>

業務の内製化により販売費及び一般管理費の適正化に努めております。

貸借対照表ハイライト

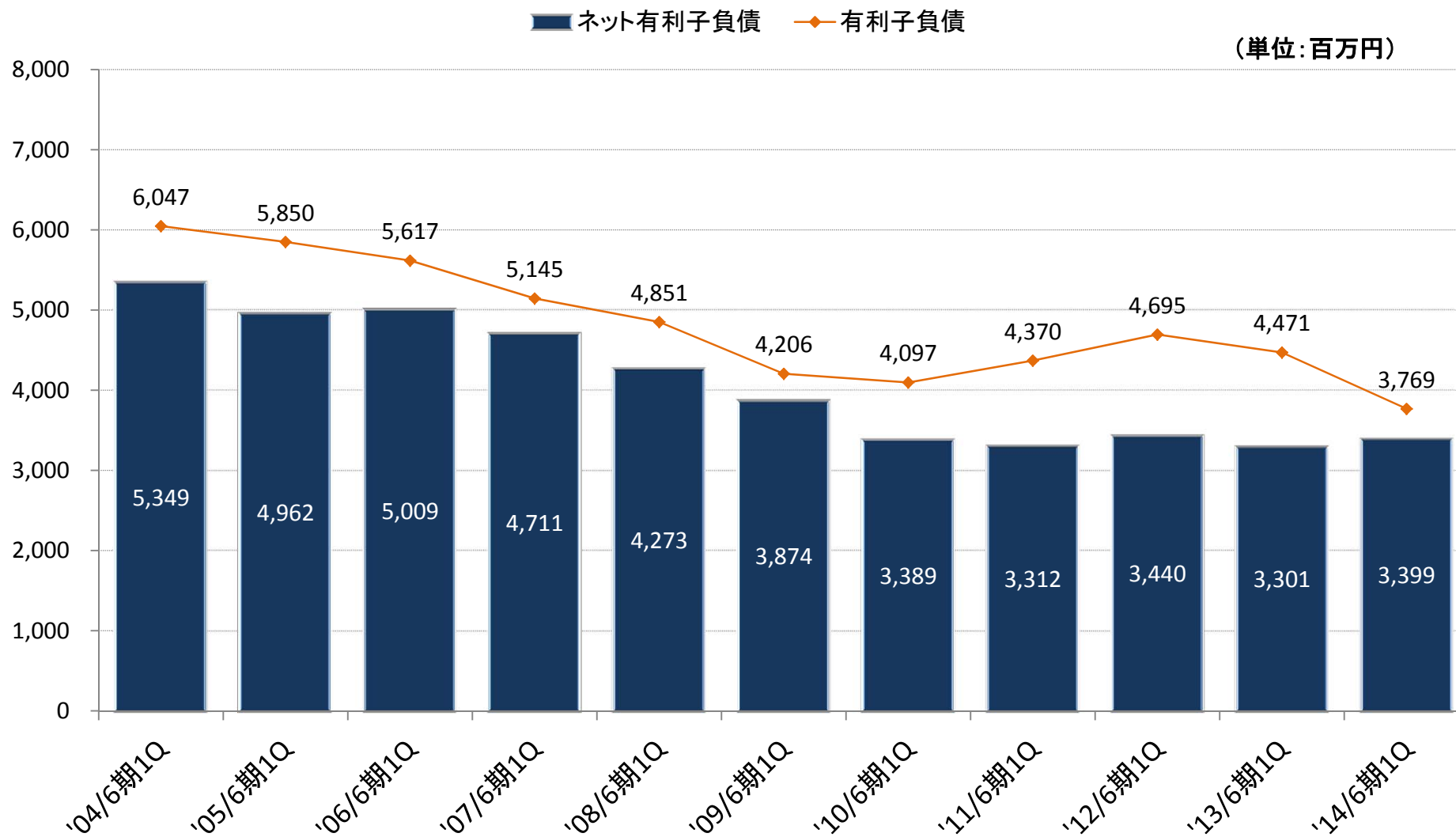
(単位:百万円)

	'13/6期末	'14/6期 1Q	増減額
流動資産合計	2,771	3,259	487
現金・預金	380	369	△10
売上債権	1,257	1,368	111
固定資産合計	7,035	7,010	△24
有形固定資産	5,583	5,559	△23
投資その他の資産	1,053	1,070	17
資産合計	9,807	10,269	462

	'13/6期末	'14/6期 1Q	増減額
負債合計	6,127	6,796	669
流動負債	4,127	4,881	754
短期借入金※	1,900	3,255	1,355
固定負債	1,999	1,915	△84
長期借入金	609	514	△94
純資産合計	3,680	3,473	△207
負債・純資産合計	9,807	10,269	462

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

(参考) ネット有利子負債の推移



(参考) キャッシュ・フロー計算書ハイライト

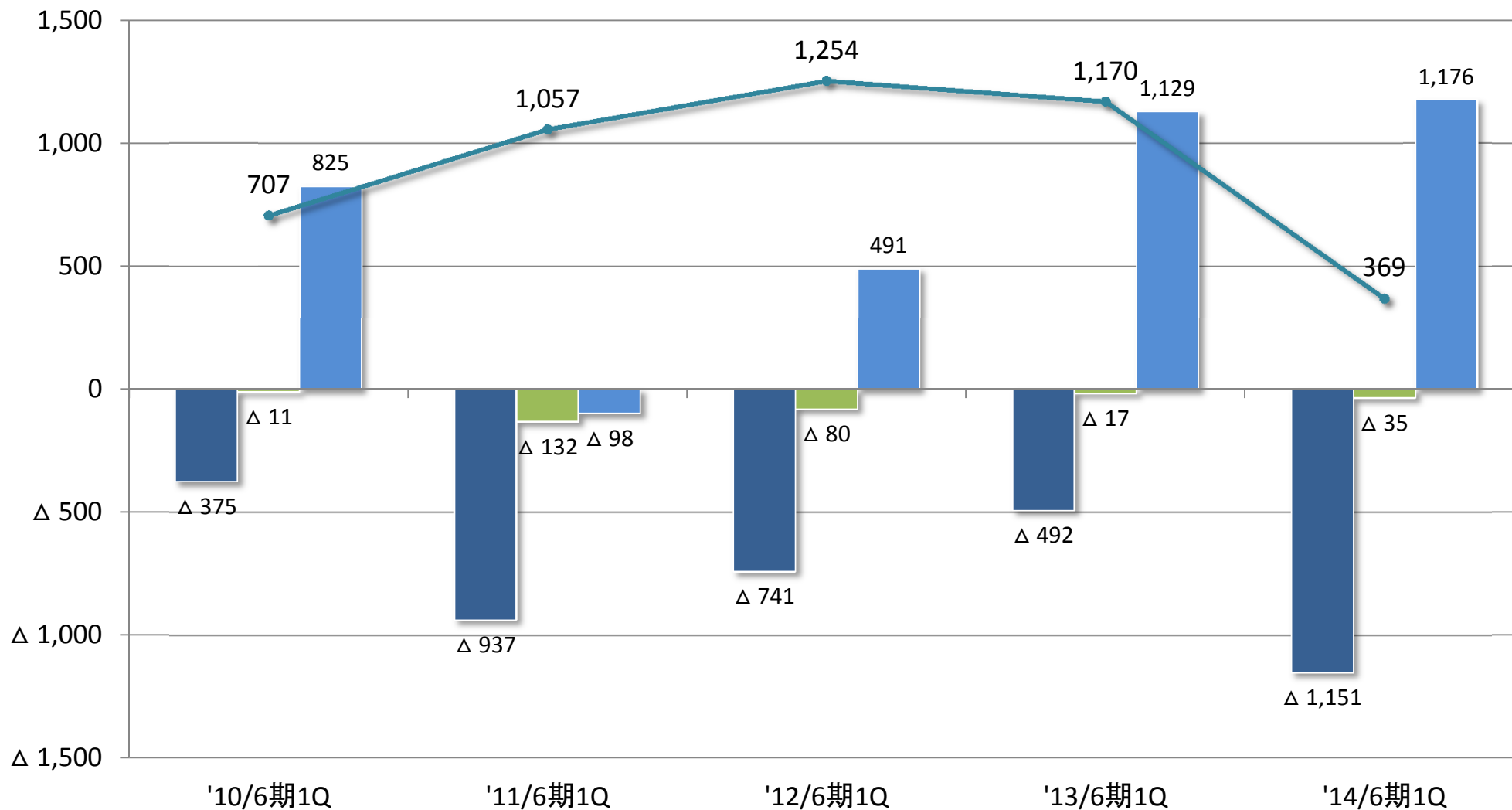
(単位:百万円)

	'13/6期 1Q	'14/6期 1Q
期首現預金残高	551	380
営業活動CF	△492	△1,151
投資活動CF	△17	△35
フリー・キャッシュ・フロー	△509	△1,187
財務活動CF	1,129	1,176
期末現預金残高	1,170	369

【主な内訳】	
営業CF(△1,151百万円)	
・たな卸資産の増加額	△283百万円
・未払費用の減少額	△326百万円
・法人税等の支払額	△345百万円
投資CF(△35百万円)	
・無形固定資産の取得支出	△14百万円
・敷金の増加支出	△12百万円
財務CF(1,176百万円)	
・短期借入金の純増	1,500百万円
・長期借入金の純減	△239百万円
・配当金の支払	△109百万円

(参考) 過去5年間のキャッシュ・フローの推移

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ● 期末現預金残高





2

セグメント別の状況



セグメント①エンジニアリングコンサルティング

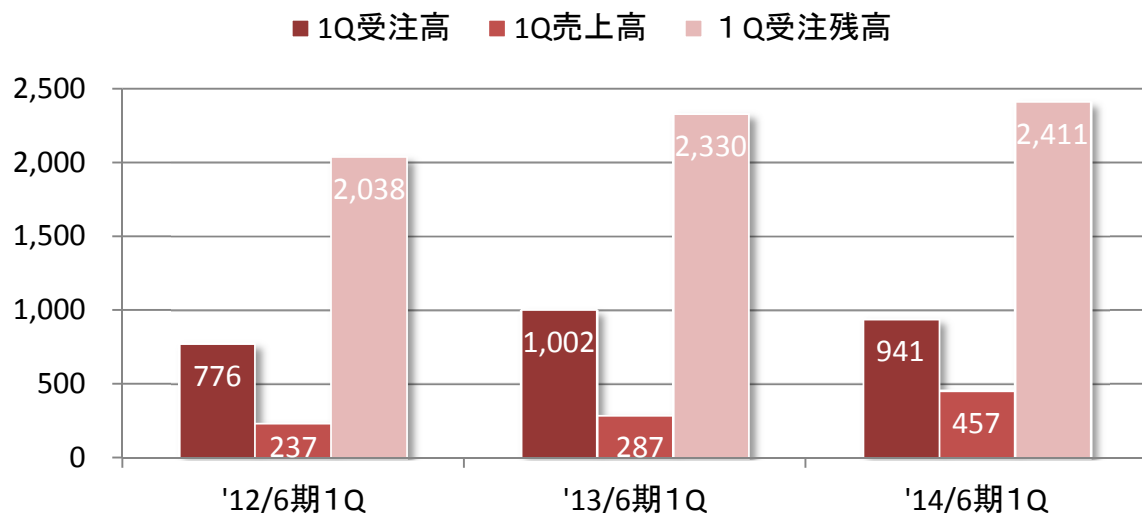
(単位:百万円)

	'12/6期1Q	'13/6期1Q	'14/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	776	1,002	941	△6.1%
売上高	237	287	457	59.0%
売上総利益 (利益率)	△31 (△13.5%)	120 (41.8%)	208 (45.6%)	73.2%
セグメント利益 (利益率)	△194 (△81.9%)	△108 (△37.7%)	△5 (△1.2%)	—
受注残高	2,038	2,330	2,411	3.5%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサル
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサル、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション

業績分析

- 防災関連のコンサルティング業務、安心・安全な社会構築を支援するコンサルティング業務が堅調に推移
- ネットワーク関連のコンサルティング業務、建築構造計算業務支援のためのコンサルティング業務が好調に推移



セグメント②システムソリューション

(単位:百万円)

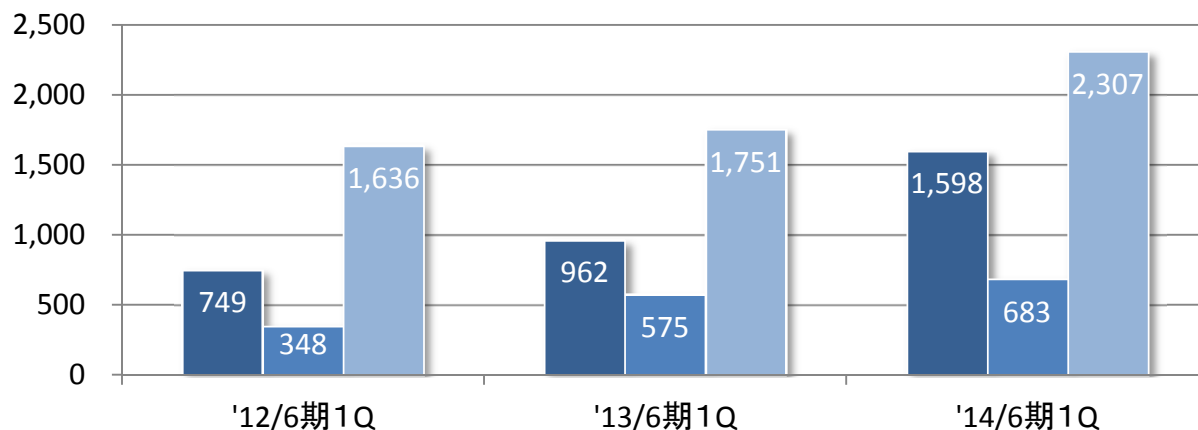
	'12/6期1Q	'13/6期1Q	'14/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	749	962	1,598	66.1%
売上高	348	575	683	18.7%
売上総利益 (利益率)	△4 (△1.4%)	204 (35.6%)	266 (39.0%)	30.3%
セグメント利益 (利益率)	△141 (△40.5%)	7 (1.3%)	96 (14.2%)	—%
受注残高	1,636	1,751	2,307	31.8%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ バス運行関連ソリューションシステム
- ◆ マルチメディアソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ 最適化・物流システム

業績分析

- 大手住宅メーカー向け構造計算システムが好調に推移
- 住宅設備メーカー向けシステムや、大手通信事業者向けシステムなどの開発業務が堅調に推移

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高

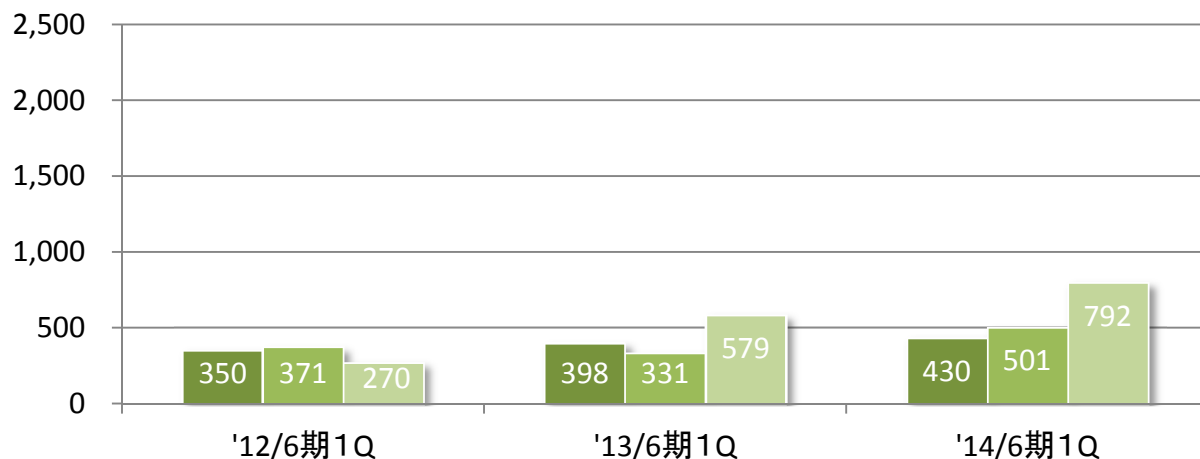


セグメント③プロダクツサービス

(単位:百万円)

	'12/6期1Q	'13/6期1Q	'14/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	350	398	430	8.2%
売上高	371	331	501	51.5%
売上総利益 (利益率)	105 (28.4%)	103 (31.3%)	223 (44.4%)	115.4%
セグメント利益 (利益率)	63 (17.2%)	29 (8.8%)	81 (16.3%)	179.7%
受注残高	270	579	792	36.9%

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高



- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング
- ◆ 教育・トレーニング

業績分析

- 製造業向けCAEソフト、ネットワーク通信シミュレータ、建築構造解析プログラムなどが販売が好調に推移

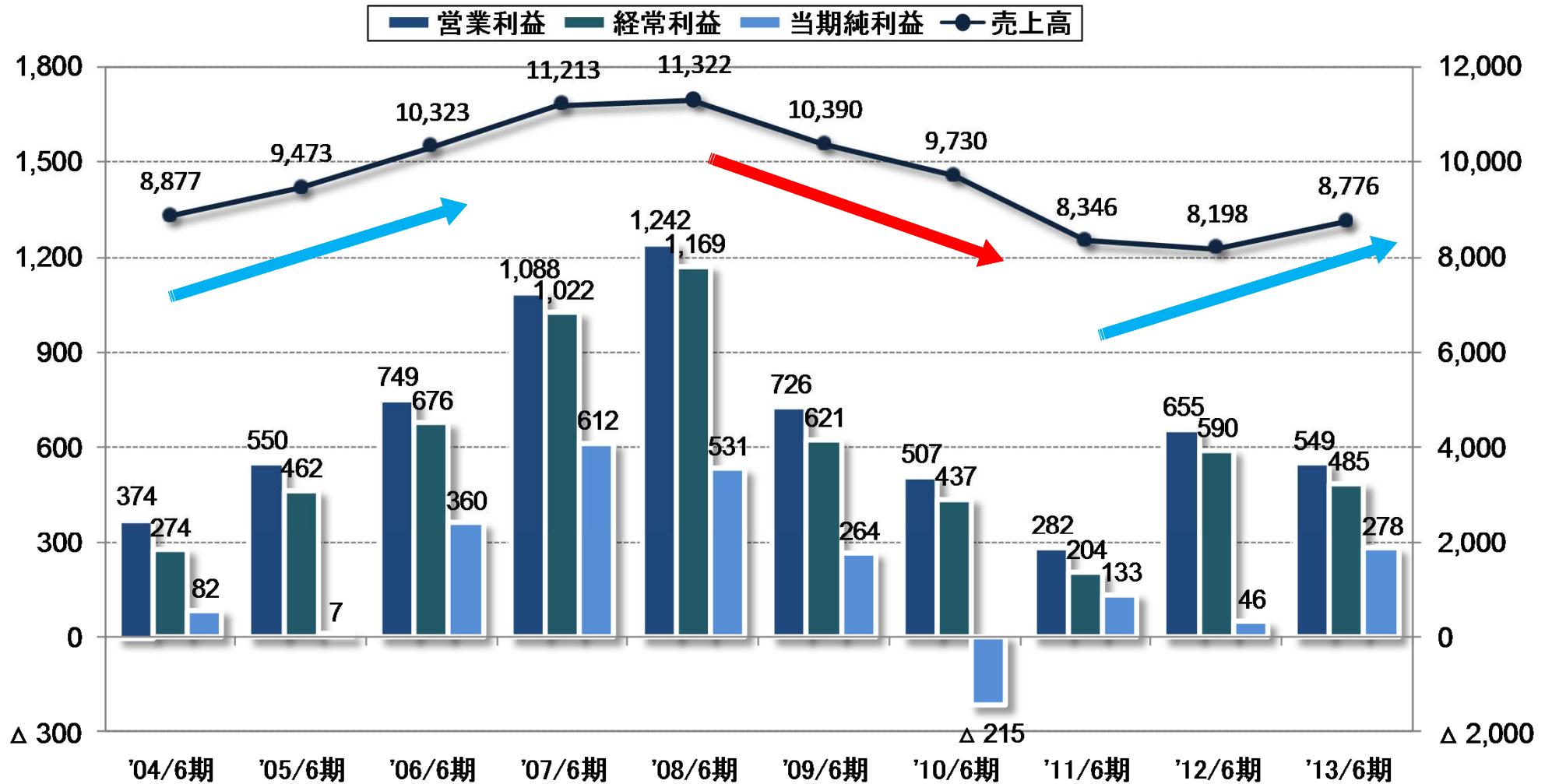


3

2014年6月期見通し

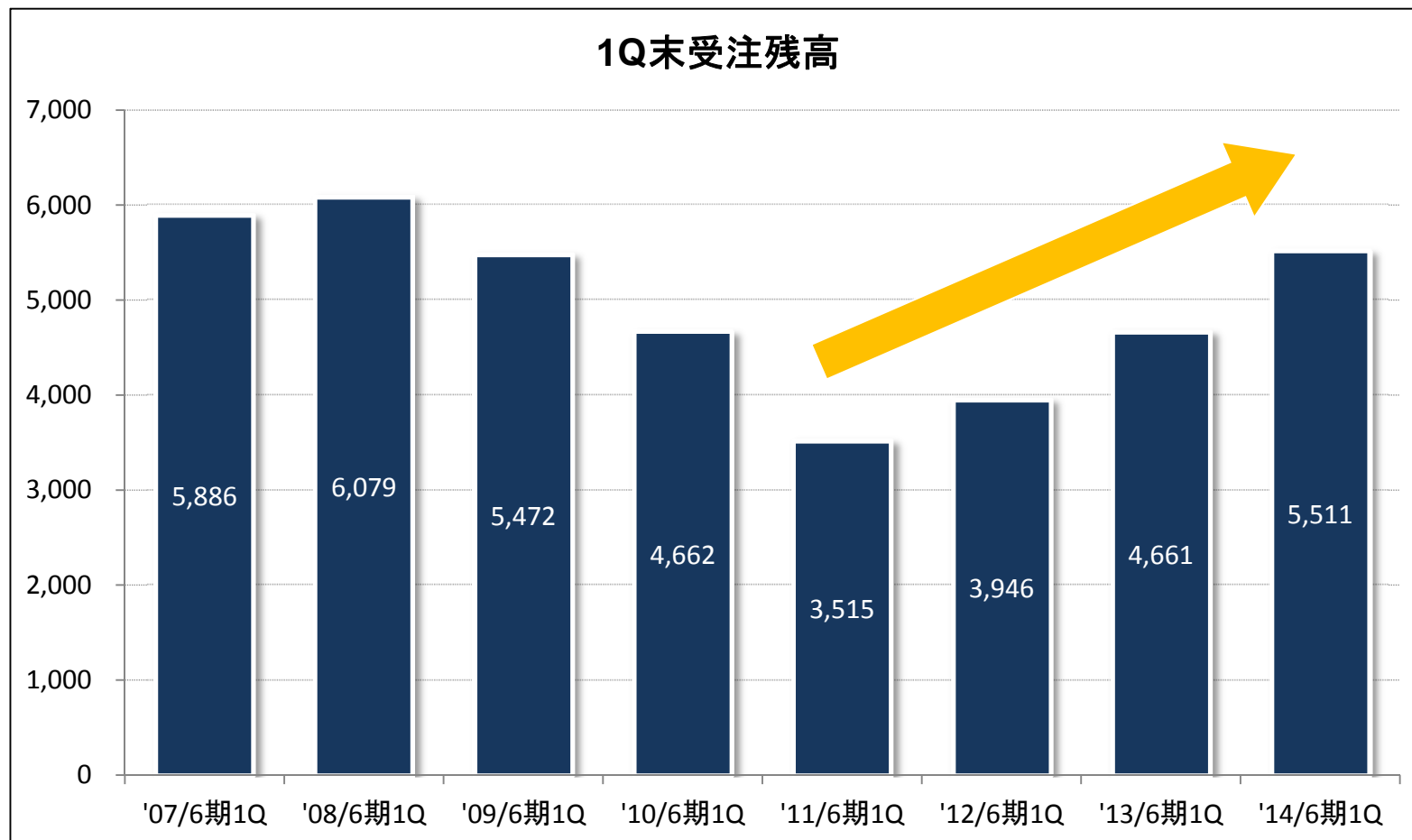


過去の業績推移



1Q末の繰越受注残高の推移

- 1Q末の受注残高は5,511百万円となり、一昨年、昨年度を上回る水準で推移



- ・経済環境 ⇒ 回復基調にあるものの、楽観視できない状況
- ・当社の対面業界 ⇒ 先行き不透明な状況は否めない



品質管理の徹底による強固な収益構造の構築

- 全事業における最終成果品の品質確保
- 受注段階での見積精度の向上および選別受注



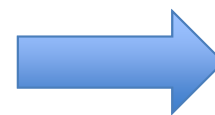
独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大

- エンジニアリングの原点への回帰
- 付加価値の高いビジネスへのシフト



経営資源の拡充

- 海外を含めた多種多様な企業との対等なアライアンスの推進
- プロフェッショナルの採用と育成



高い顧客満足度
&
付加価値の向上

- 品質保証センターによる組織的な品質管理体制の構築
- 社内管理体制の維持強化
- 所員の技術向上支援

品質保証センターの設置

- 全ての事業における最終成果品の品質向上および確保
- 営業提案段階から最終工程までの各プロセスごとの品質管理を徹底

社内管理体制の維持強化

- 機密情報の厳密な取扱い
- 社員へのコンプライアンス意識向上教育

所員の技術向上支援

- プロジェクトの品質を確保するための教育支援
- プロジェクトの付加価値を向上させるための教育支援

重点施策 ②エンジニアリングコンサルティング領域の拡大

構築物

建築構造物の耐震・制振・免震検討

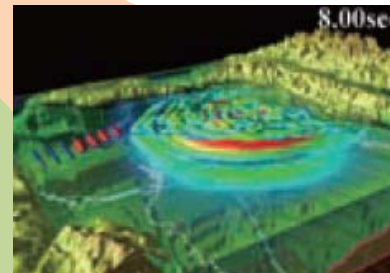


風力発電所の構造解析

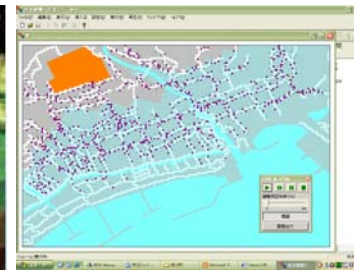


自然・環境

地震動伝搬解析



津波解析



液状化解析



自然・環境

地震動伝搬解析
洪水・津波解析
液状化解析
土砂災害の影響検討

構築物

建築構造物の耐震・制振・免震検討
3次元免震装置
橋梁の耐震評価
ダム耐震解析
風力発電所の構造解析

社会・企業・コミュニティ

災害避難シミュレーション
意思決定支援
人流計測行動分析

データ分析
環境測定・エネルギーモニタリングシステム
インフラ施設の予防保全

社会・企業・コミュニティ

津波避難シミュレーション



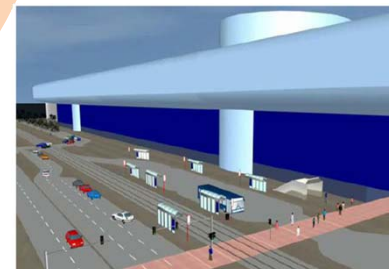
エネルギーモニタリング測定



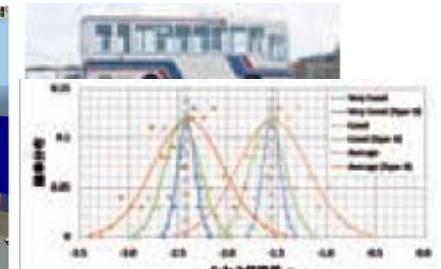
スマートシティ



スマートモビリティ



インフラ施設の予防保全



アライアンスの推進

- 独立系の利点を活かしつつ、大学・研究機関や独自技術を持つ海外を含めた多種多様な企業との対等なアライアンスの推進

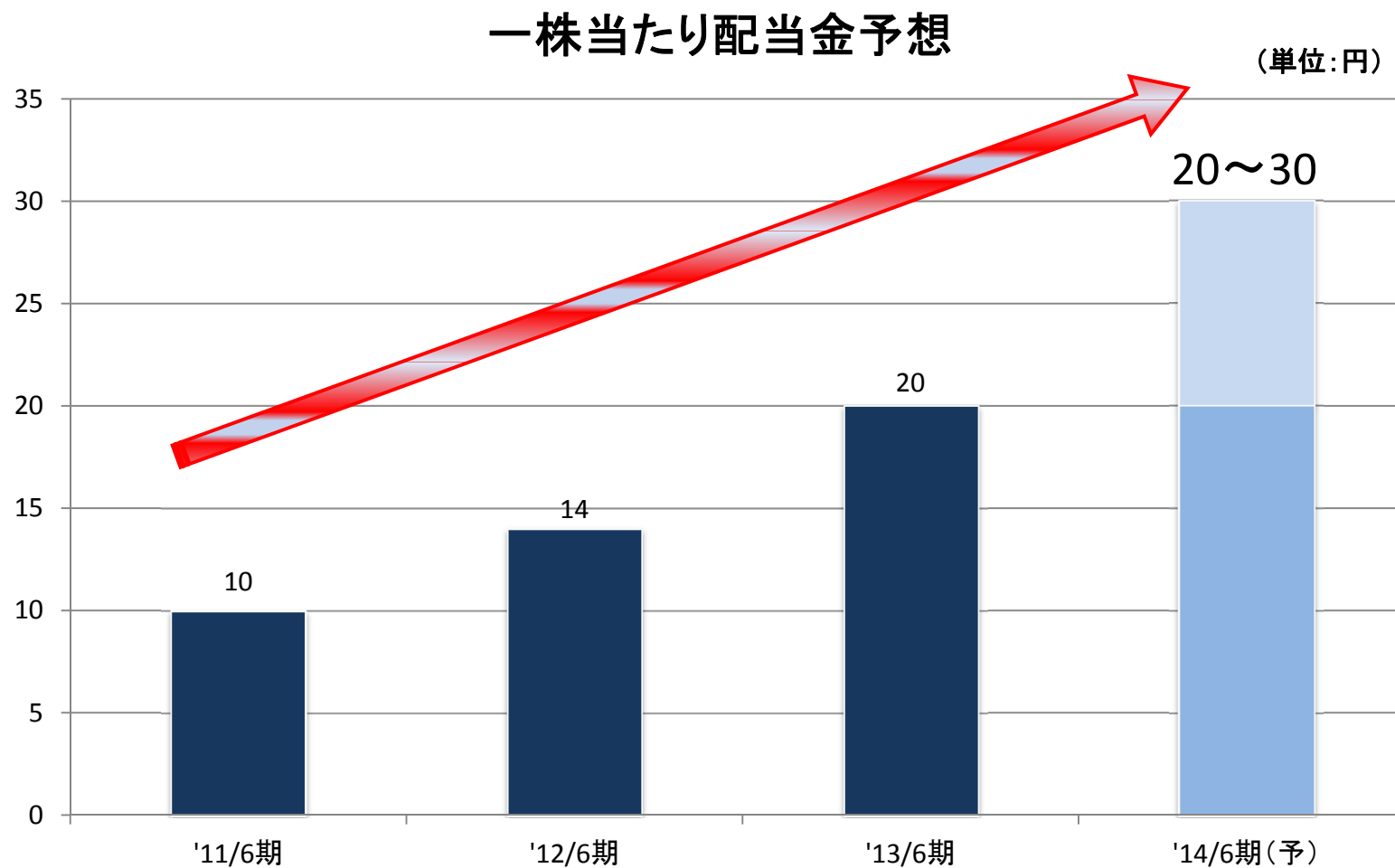
人材の採用

- グローバルビジネスに対応できる優秀な人材の採用

人材の育成

- エンジニア、マネジャー、マーケター等、経済環境の変化に適時適切に対応できる多種多様なプロフェッショナルの育成

一株当たり配当金予想（'14/6期）



※当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。



4

TOPICS



◆開催概要

日時:2013年10月17, 18日
会場:ヒルトン東京
来場者数:約1,000名

◆講演詳細

基調講演

「アベノミクスは日本経済を救えるか？」

スタンフォード大学ファイナンス教授

星岳雄氏

…その他、27講演を2日間にわたり実施



【業績予想に関する注意事項】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 構造計画研究所
法務部(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1141

F A X : 03-5342-1241

E-MAIL : ir@kke.co.jp

H. P. : <http://www.kke.co.jp>